

2015年3月期 第3四半期決算説明会



2015 RJC 特別賞

「日本の軽自動車」が受賞

軽自動車が成し遂げてきた目覚ましい進化と、
日本において果たしている役割を評価いただきました。

遊
べる
軽

HUSTLER



カーオブザイヤー受賞

主催：日本自動車振興会・ジャーナリスト会連



2014～2015 CAR OF THE YEAR
日本自動車殿堂 カーオブザイヤー受賞

主催：日本自動車殿堂

スズキ株式会社

2015.2.5

・増収、純利益減益

(億円)

	当第3四半期 ('14/4-12)	前年同期 ('13/4-12)	増 減	
			増減率	
売上高	21,430	20,757	+673	+3.2%
国内売上	7,738	7,779	▲41	▲0.5%
自 社	6,722	6,963	▲241	▲3.5%
O E M	1,016	816	+200	+24.5%
海外売上	13,692	12,978	+714	+5.5%
営業利益 (利益率)	1,352 (6.3%)	1,347 (6.5%)	+5	+0.4%
経常利益 (利益率)	1,444 (6.7%)	1,395 (6.7%)	+49	+3.5%
四半期純利益 (利益率)	799 (3.7%)	825 (4.0%)	▲26	▲3.1%

連結：売上高の状況

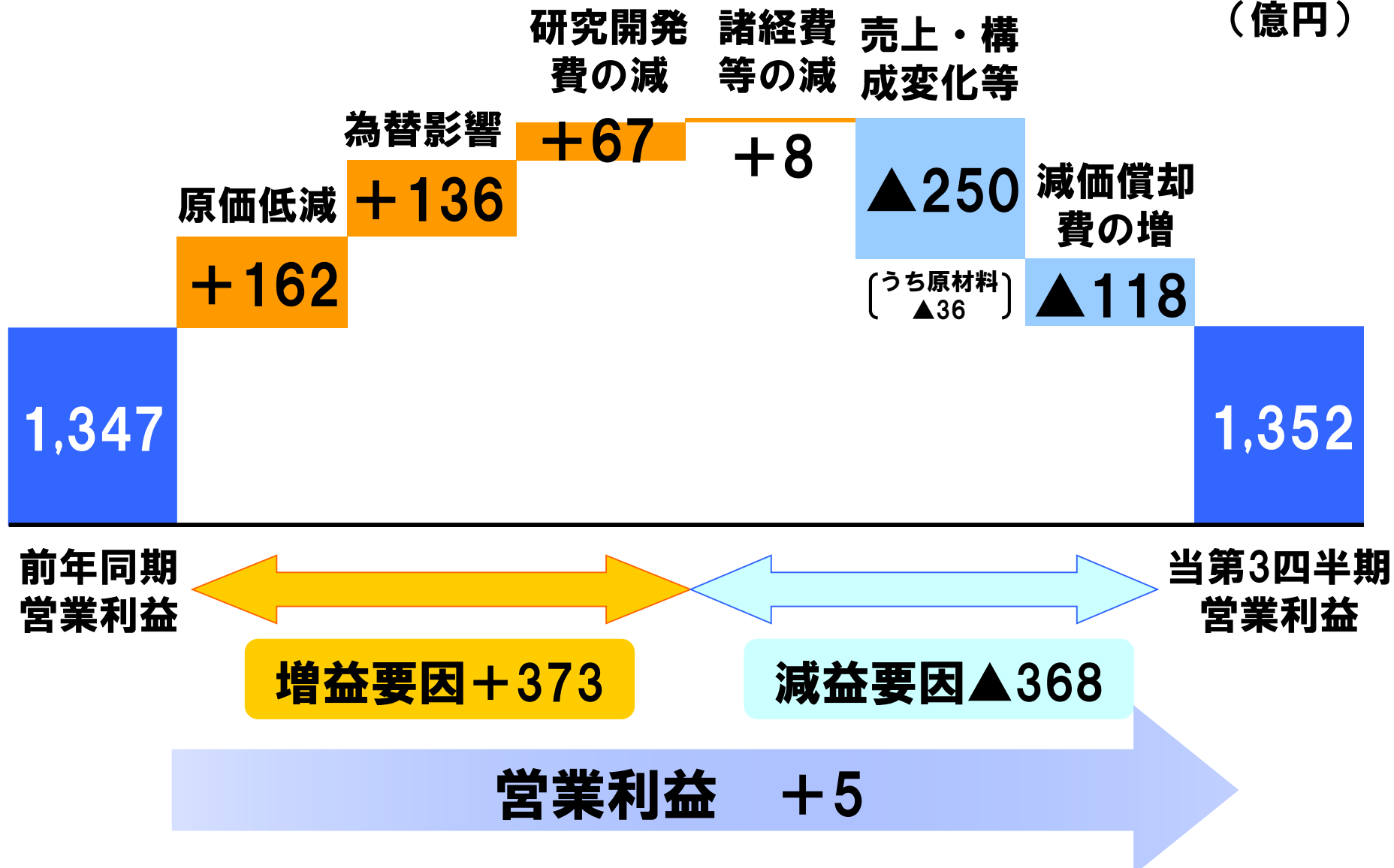
(億円)

	二 輪			四 輪			特機等			合 計			内、為替 換算影響
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
国内計	159	176	▲17	7,432	7,457	▲25	147	146	+1	7,738	7,779	▲41	
自 社	159	176	▲17	6,416	6,641	▲225	147	146	+1	6,722	6,963	▲241	
OEM				1,016	816	+200				1,016	816	+200	
海外計	1,640	1,748	▲108	11,738	10,978	+760	314	252	+62	13,692	12,978	+714	+580
欧 州	288	286	+2	2,230	2,258	▲28	105	77	+28	2,623	2,621	+2	+170
北 米	284	282	+2	38	70	▲32	123	101	+22	445	453	▲8	+28
アジア	752	859	▲107	7,929	7,333	+596	29	26	+3	8,710	8,218	+492	+357
その他	316	321	▲5	1,541	1,317	+224	57	48	+9	1,914	1,686	+228	+25
総合計	1,799	1,924	▲125	19,170	18,435	+735	461	398	+63	21,430	20,757	+673	+580
内、為替 換算影響			+58			+499			+23			+580	

※当期・・・2014年4～12月期、前期・・・2013年4～12月期

連結：営業利益増減要因

(億円)



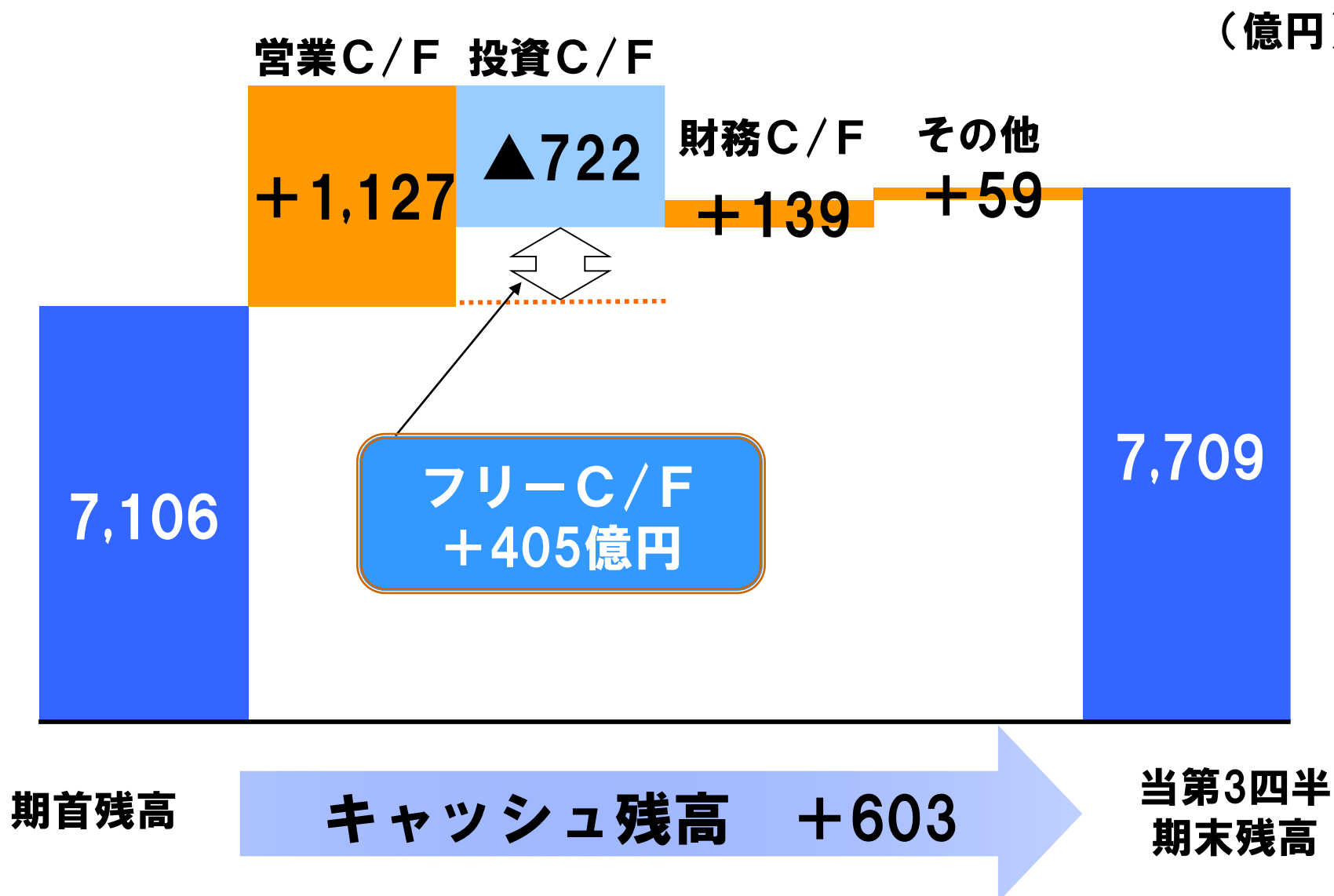
	当第3四半期 ('14/4-12)	前年同期 ('13/4-12)	増 減	営業利益 為替影響
米ドル	107円	99円	+8円	+21億円
ユーロ	140円	132円	+8円	+36億円
インドルピー	1.77円	1.68円	+0.09円	+46億円
インドネシアルピア (100ルピア当り)	0.90円	0.94円	▲0.04円	▲10億円
タイバーツ	3.29円	3.19円	+0.10円	+0億円
その他	—	—	—	+43億円
計				+136億円

連結：設備投資、減価償却費、 研究開発費、及び有利子負債残高

(億円)

	当第3四半期 ('14/4-12)	前年同期 ('13/4-12)	増 減
(当社単独)	338	357	▲19
(子 会 社)	986	1,166	▲180
設 備 投 資	1,324	1,523	▲199
減価償却費	966	848	+118
研究開発費	863	930	▲67

	当第3四半期末 ('14/12末)	前年同期末		前期末	
		('13/12末)	増 減	('14/3末)	増 減
有利子負債残高	4,825	4,562	+263	4,453	+372



連結：事業別業績 (売上高・営業利益)

(億円)

売上高

前年同期

当第3四半期

営業利益

前年同期

当第3四半期

《二輪》

売上高
▲125 (▲6.5 %)

1,924 1,799

営業利益
▲4 (赤字拡大)

▲46 ▲50

前年同期 当第3四半期
'13/4-12 '14/4-12

《四輪》

売上高
+735 (+4.0%)
18,435 19,170

営業利益
▲2 (▲0.1%)

1,339 1,337

前年同期 当第3四半期
'13/4-12 '14/4-12

《特機等》

売上高
+63 (+15.8 %)
398 461

営業利益
+11 (+19.7%)

54 65

前年同期 当第3四半期
'13/4-12 '14/4-12

連結：所在地別業績 (売上高・営業利益)

(億円)

売上高

前年同期

当第3四半期

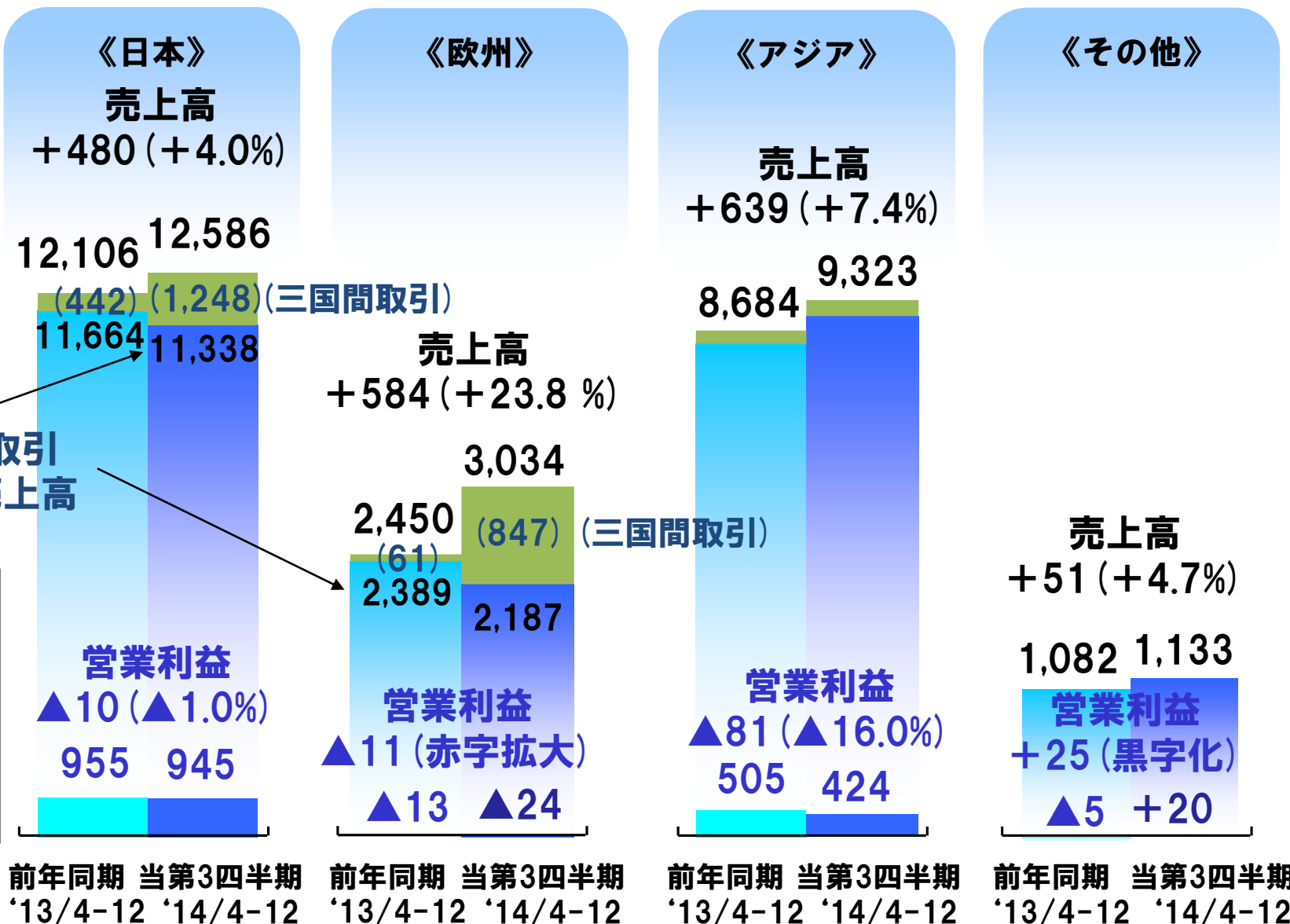
三国間取引

三国間取引
を除く売上高

営業利益

前年同期

当第3四半期



	当第3四半期末 ('14/12末)	前年同期末		前期末	
		('13/12末)	増 減	('14/3末)	増 減
連結 子会社数	131社	135社	▲4社	133社	▲2社
持分法適用 関連会社数	37社	37社	±0社	37社	±0社
従業員数	57,569人	58,077人	▲508人	57,749人	▲180人

・ 11月6日公表から当期純利益を100億円下方修正

(億円)

		前期比較		前回予想比較	
		前期実績	増減	前回予想	増減
今 回 通期予想					
売 上 高	30,000	29,383	+617	30,000	—
営 業 利 益	1,880	1,877	+3	1,880	—
経 常 利 益	1,980	1,978	+2	1,980	—
当期純利益	1,050	1,075	▲25	1,150	▲100
増減要因	原価低減	+250	+252	+250	—
	為替影響	+180	+543	+50	+130
	売上・構成変化等	▲237	+478	▲107	▲130
	諸経費等の増	▲80	▲529	▲80	—
	減価償却費の増	▲80	▲235	▲80	—
	研究開発費の増	▲30	▲78	▲30	—
計		+3	+431	+3	—
設 備 投 資	2,000	2,136	▲136	2,300	▲300
減価償却費	1,250	1,172	+78	1,250	—
研究開発費	1,300	1,271	+29	1,300	—

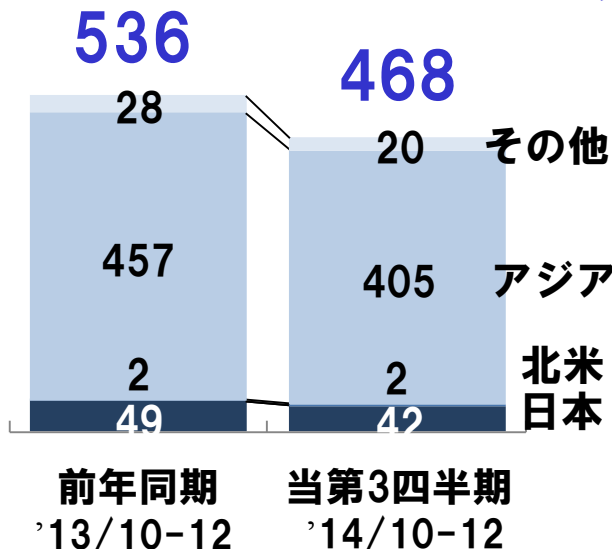
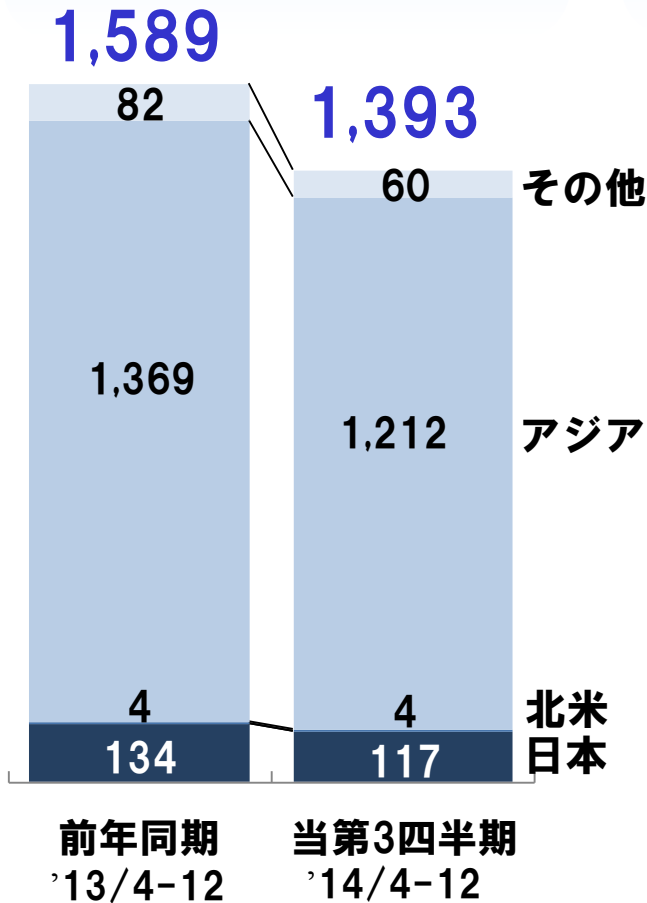
連結：通期業績予想 (為替レート前提)

	今回予想 (2014.4～2015.3)			為替影響	前期比較 (2013.4～2014.3)		前回予想比較 (2014.4～2015.3)	
	'14/4-12 実績	'15/1-3 予想	通期 予想		通期 実績	増減	通期 予想	増減
米ドル	107円	115円	109円	+28億円	100円	+9円	104円	+5円
ユーロ	140円	135円	139円	+26億円	134円	+5円	138円	+1円
インド ルピー	1.77円	1.85円	1.79円	+79億円	1.68円	+0.11円	1.72円	+0.07円
インドネシア ルピア※	0.90円	0.92円	0.91円	▲6億円	0.93円	▲0.02円	0.87円	+0.04円
タイ バーツ	3.29円	3.50円	3.35円	+3億円	3.18円	+0.17円	3.20円	+0.15円
その他通貨				+50億円				
為替影響額 計				+180億円			+50億円	+130億円

(千台)

《4～12月比較》
▲196千台(▲12.3%)

《10～12月比較》
▲68千台(▲12.7%)



新型 **Let's** 誕生
いたずらに流行を追いかけない。
使いやすく、本当にいいものを。

Made in JAPAN

レッツ (日本)



- ・ 10年振りの全面改良
- ・ 昨年12月に「レッツG」発売、本年3月には「レッツ」を発売
- ・ 優れた燃費性能54.8km/L※、軽くて取り回しやすい車体、使い勝手の良い機能、誰にでもどんな服装にも合うデザイン
- ・ 50ccスクーターは日本がメイン市場 地産地消の考えに基づき、日本国内で生産

※WMTCモード測定値、スズキ調べ

《4～12月比較》

▲194千台(▲12.6%)

1,544

1,349

179

157

その他

1,242

1,075

アジア

北米
欧州
日本

32
36
55

31
34
52

前年同期
'13/4-12

当第3四半期
'14/4-12

《10～12月比較》

▲70千台(▲14.4%)

(千台)

487

417

63

その他

394

340

アジア
北米
欧州
日本

8
6
17

6
6
16

前年同期
'13/10-12

当第3四半期
'14/10-12

Address

- ・大容量収納スペースと優れた加速性能、51.2km/L※の低燃費が特徴の110ccスクーター
- ・11月からインドネシアで発売開始
- ・本年1月からインドネシアで生産し、欧州、日本でも販売

※WMTCモード測定値、スズキ調べ



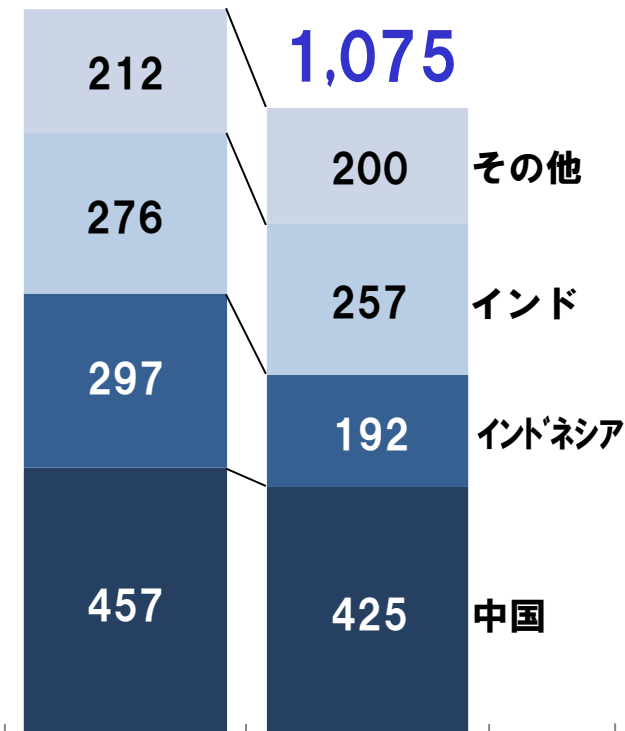
《4～12月比較》

▲167千台（▲13.5%）

《10～12月比較》

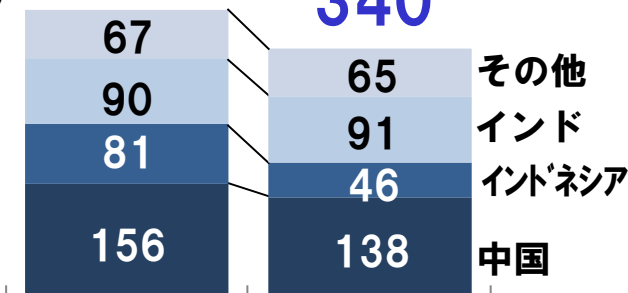
▲54千台（▲13.7%）

1,242



（千台）

394



Gixxer (India)

- ・インドで8月から発売している150cc新型フラッグシップバックボーン「ジクサー」が、「オートカー・インディア・アワード2015」で、「バイク・オブ・ザ・イヤー」を受賞。
- ・スズキ車の受賞は初。

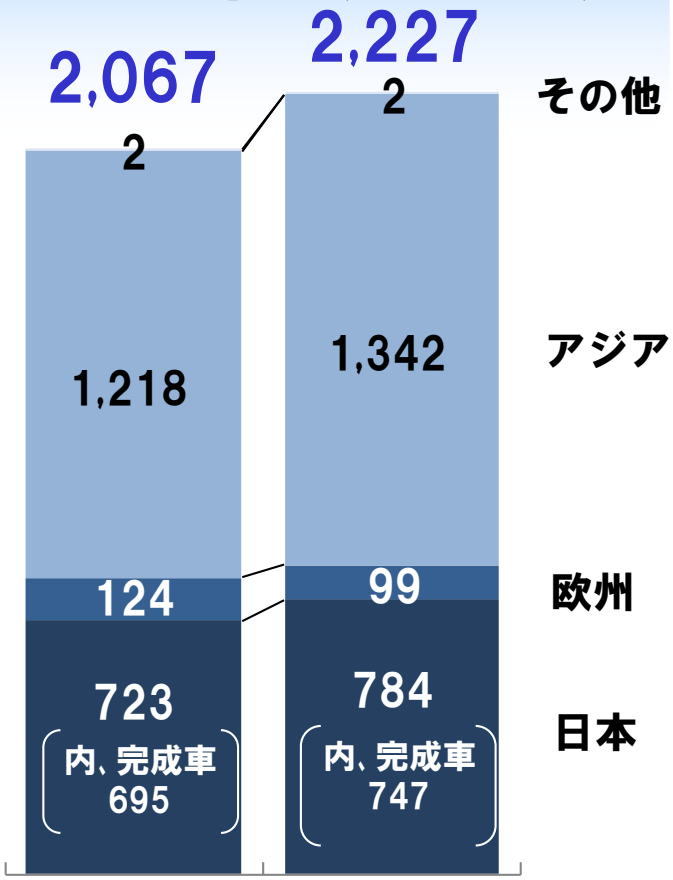


前年同期 '13/4-12 当第3四半期 '14/4-12

前年同期 '13/10-12 当第3四半期 '14/10-12

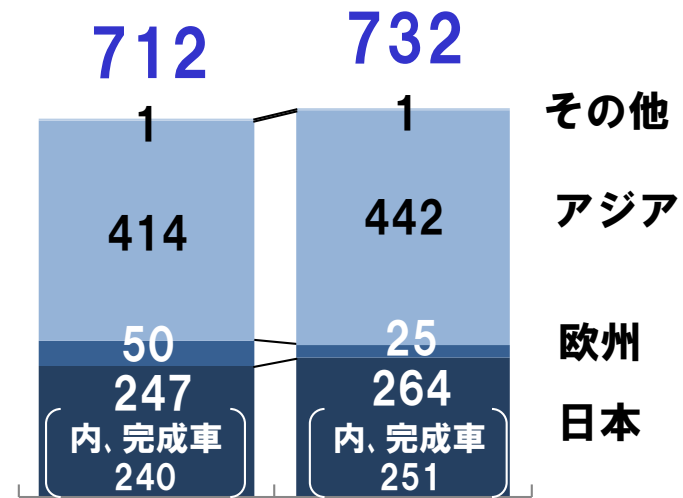
四輪車 生産台数実績

《4～12月比較》
+160千台(+7.7%)



前年同期 '13/4-12
当第3四半期 '14/4-12

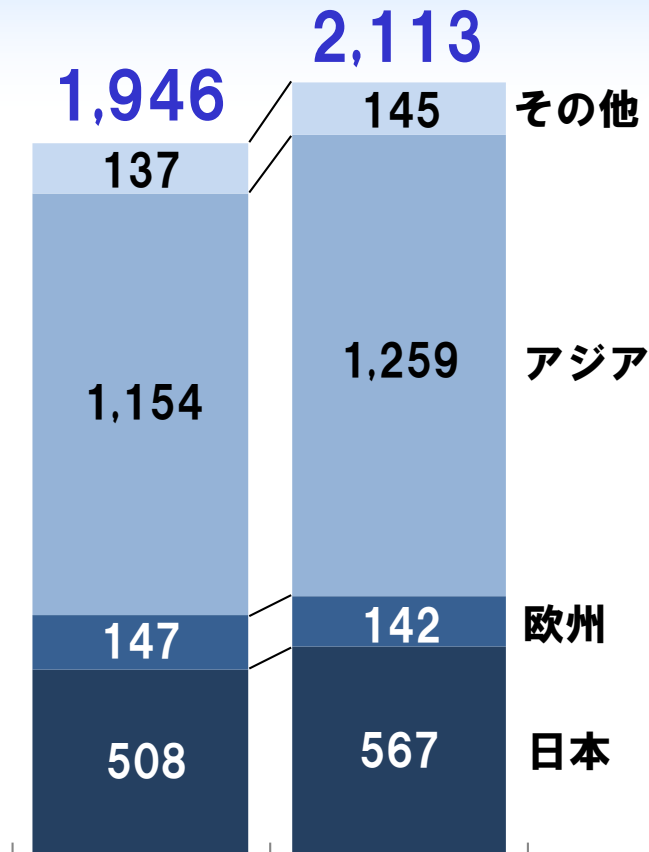
《10～12月比較》
+20千台(+2.7%)



前年同期 '13/10-12
当第3四半期 '14/10-12

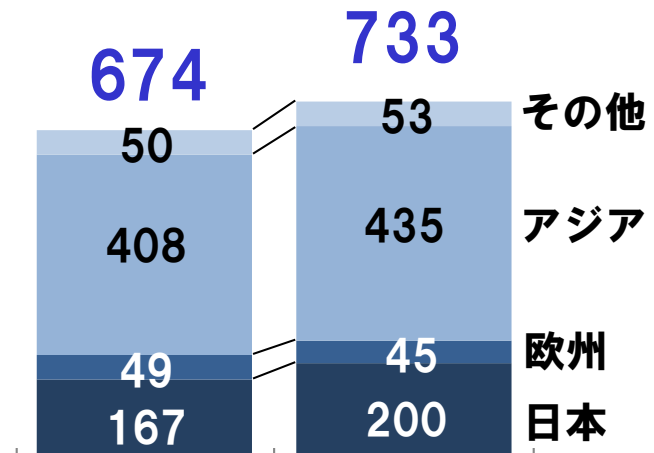
(千台)

《4～12月比較》
+167千台(+8.6%)



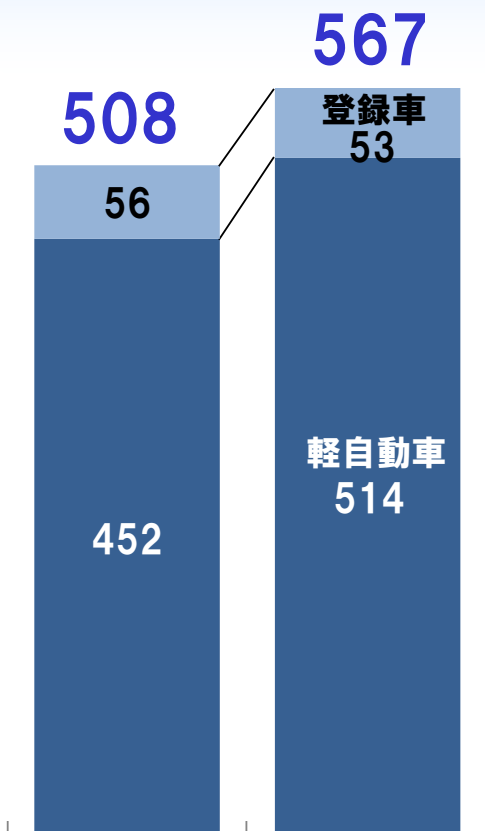
前年同期 '13/4-12
当第3四半期 '14/4-12

《10～12月比較》
+59千台(+8.7%)

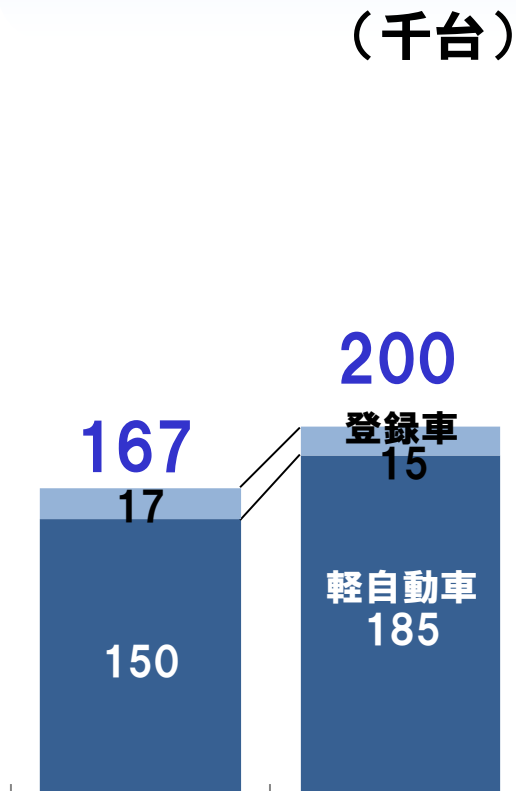


前年同期 '13/10-12
当第3四半期 '14/10-12

《4～12月比較》
+59千台(+11.7%)



《10～12月比較》
+33千台(+20.0%)



前年同期 '13/4-12 当第3四半期 '14/4-12

前年同期 '13/10-12 当第3四半期 '14/10-12

2015 RJC 特別賞「日本の軽自動車」が受賞
主催：日本自動車統計協会・ジー・アール・シー
 軽自動車が成し遂げてきた目覚ましい進化と、日本において果たしている役割を評価いただきました。

ワゴンRスティングレー J STYLE

- ・日本をテーマにした和のデザインの華やかなゴールド加飾を内外装に採り入れ、装備を充実させた特別仕様車



ハスラー J STYLE

- ・RJCカーオブザイヤー受賞記念特別仕様車「J STYLE」1月より発売



徹底した軽量化とパワートレインの高効率化により、
ガソリン車No.1※¹の低燃費37.0km/L※²と走りを両立

■ 軽自動車 新型「アルト」発売

- ・「アルト」は発売から35年、国内累計販売台数は484万台※³に達する
- ・12月に新開発プラットフォームを初めて採用した新型「アルト」を発売

■ 新型「アルト」の特長

- ・ガソリン車No.1※¹の低燃費37.0km/L※²と 軽快でしっかりした走りの両立
- ・従来モデル比60kg※⁴の軽量化達成。最軽量※⁵の車両重量610kg※⁶実現
- ・シンプルでクリーン、スタイリッシュなデザイン
- ・快適な室内空間と運転のしやすさ
- ・オートギヤシフト(AGS)搭載車を
スズキ軽乗用車で初めて設定

■ 販売目標台数(月間) 7,000台



ALTO

※¹ JC08モード走行燃費に基づく。ハイブリッド車を除く。2014年12月現在、スズキ調べ。

※² 2WD C V T車。

※³ アルト乗用、商用の届出台数(アルトラバンを除く)。2014年12月末現在、スズキ調べ。

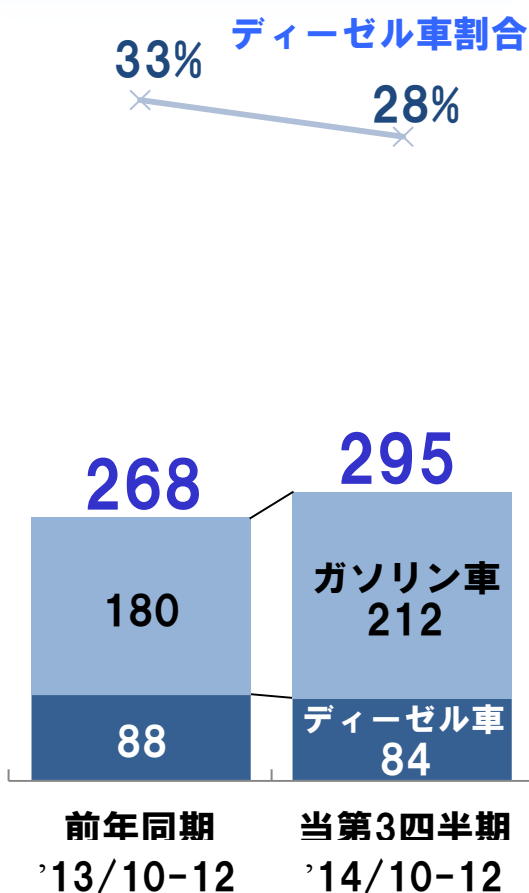
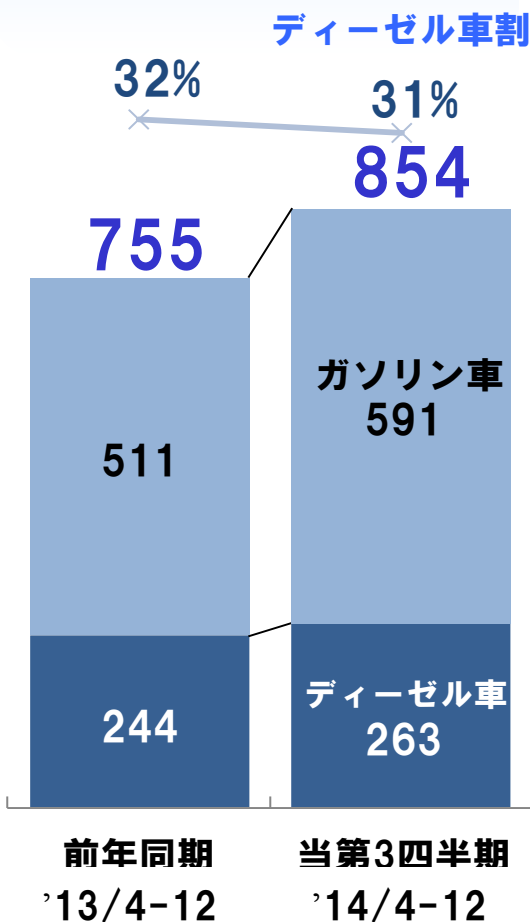
※⁴ 新型アルト C V T車と先代アルト エコの比較。

※⁵ 4人乗り軽自動車で現行販売車との比較。2014年12月現在、スズキ調べ。

※⁶ 2WD 5MT車。

《4～12月比較》
+98千台(+13.0%)

《10～12月比較》
+27千台(+10.1%)
(千台)

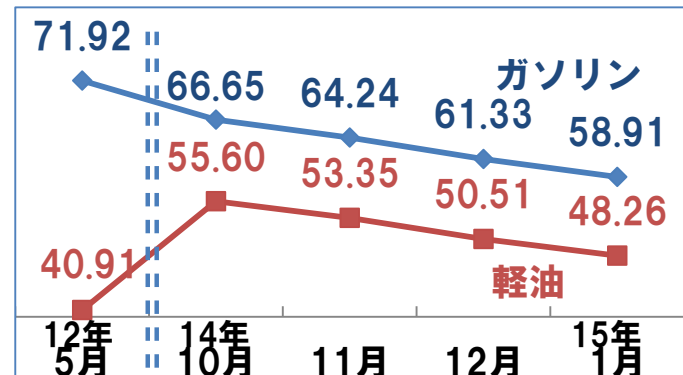


・1月28日、グジャラート州新工場の定礎式を実施

- ・2017年半ば生産開始、生産能力年間25万台、投資額約600億円を予定
- ・車両・部品はマルチ・スズキ社にのみ供給され、同社の販売網で販売
- ・マルチ・スズキ社では商品開発と販売力強化の投資に専念し、新生産会社への投資はスズキが行う

社名 : Suzuki Motor Gujarat Private Limited
 所在地 : グジャラート州アーメダバード市
 代表者 : 相澤 直樹（スズキ取締役専務役員）
 敷地面積 : 640エーカー（260万平方メートル）
 生産開始 : 2017年半ば
 生産能力 : 年間25万台
 投資額 : 約600億円

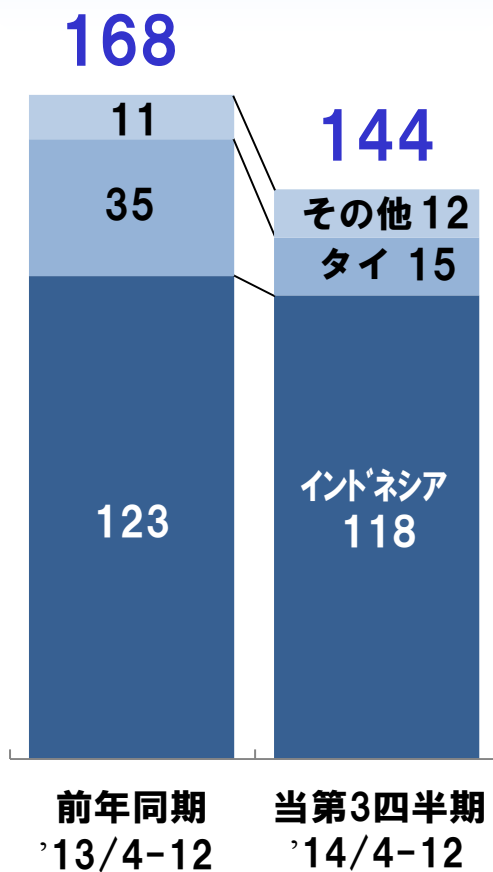
<インド燃料価格推移> (ルピー/L)



注. 月末時点ニューデリー価格

《4～12月比較》

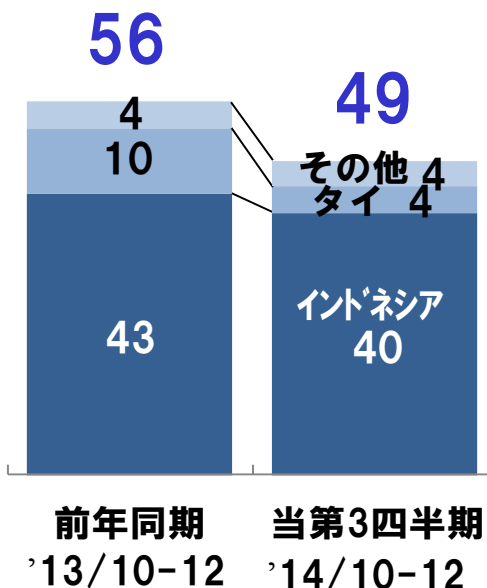
▲24千台（▲14.3%）



《10～12月比較》

▲8千台（▲14.1%）

（千台）



・インドネシアの「チカラン工場」が稼働開始

- ・ ジャカルタ東方のGIIIC工業団地にチカラン工場を建設
- ・ 昨年11月からエンジン工場が稼働開始
- ・ 本年1月からは新しい四輪車組立工場が稼働、インドネシア全体の生産能力は25万台へ拡大
- ・ 部品の内作率向上、一貫生産による効率化、為替に強い体制を構築
- ・ 拡大するインドネシア市場の需要に対応するとともに輸出を強化していく

・ 11月6日公表から変更

(千台)

	通期生産台数				
	予想 (14年度)	前期実績			前回予想からの修正
		(13年度)	増減	増減率	

<二輪車>

日 本	156	180	▲24	▲13.5%	▲13
欧 州	—	—	—	—	—
北 米	5	5	▲0	▲8.4%	▲1
アジア	1,587	1,744	▲157	▲9.0%	▲123
その他	82	103	▲21	▲20.3%	▲2
合 計	1,830	2,033	▲203	▲10.0%	▲139

<四輪車>

日 本	1,030	998	+32	+3.2%	+24
欧 州	144	171	▲27	▲16.0%	▲2
アジア	1,824	1,686	+138	+8.2%	▲37
その他	3	2	+1	+60.1%	+1
合 計	3,001	2,857	+144	+5.0%	▲14

	通期販売台数				
	予想 (14年度)	前期実績			前回予想からの修正
		(13年度)	増減	増減率	

	69	74	▲5	▲6.6%	▲5
	47	48	▲1	▲1.1%	
	45	41	+4	+9.3%	
	1,447	1,638	▲191	▲11.7%	▲156
	206	227	▲21	▲9.2%	▲12
	1,814	2,027	▲213	▲10.5%	▲173

	726	728	▲2	▲0.3%	+51
	196	205	▲9	▲4.3%	▲4
	1,722	1,596	+126	+7.9%	▲25
	188	181	+7	+4.1%	▲2
	2,832	2,709	+123	+4.5%	+20

2015年3月期 第3四半期決算説明会



スズキ株式会社

将来予想に関する注意事項

※このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

※実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。

※実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル／円相場、ユーロ／円相場、インドルピー／円相場)などが含まれます。